

一生けん命がんばる運動会

園長 大瀬 清嗣

9月15日は、まちに待った運動会です。私の世代の子どもの頃の運動会は、その地域の大きな行事の一つとして存在していました。朝早く、花火の合図で運動会があることを知らされ、地域の人たちは、ゴザなどを担いで学校に集まりました。

その日一日、子どもたちの演技に声援し、地域の人たちもリレーや綱引きに参加し、共に楽しんでいました。また、伝統の種目というものもあり、それを目当てに見物に来る人もいました。

運動会の朝、子どもたちは真新しい運動足袋（1～2年生ぐらいまで）をはき、喜び勇んで学校まで走ったものでした。（ただし、この足袋は午前中に破れて、ぼろぼろになってしまいました）

また、どの子にとってもわくわくどきどきした競技は、「リレー」であることは、昔も今も変わらないと思います。



さて、今年の運動会のテーマは「もりのこちからをあわせて エイエイオー！」です。一生けん命がんばることは、今年の本園が目指す「共に育ちあう幼稚園」の姿です。初めて運動会に参加する年少さんはもちろん、先生方と協力して、すべての園児にがんばってやり抜いてほしいことがあります。

それは次の3つです。

◎泣かないでさいごまで、がんばることで。（全力発揮）

◎みんなと力を合わせることで。（協力・連携）

◎よそ見しないで先生のお話をよく聞くことで。（集中）

特に年長さんにとっては、幼稚園生活最後の運動会です。自分の心にはもちろん、そして見に来る人たちの心にも、みなさんの輝く姿が残るようがんばってください。

めざせ優勝！絆を深めて、みんなで素晴らしい運動会にしましょう



《お知らせ》

◎本園で駐車場として、お隣の平和球場の駐車場をお借りしていますが、その駐車場内に、故意に投棄されたと思われる「ごみ」が見られるようになりました。そこで、球場内の駐車場の利用される方は、環境美化に協力するため、ごみ等が散逸しないようご協力をお願いします。

◎他園での事案ではありますが、園児の保護者が来園中、車上荒らしに遭い、現金他重要書類等が盗まれるという事件があったそうです。本園でも、保護者が来園中に、狙われる恐れもありますので、「施錠をしっかりとる」「貴重品等を置かない」等、十分、お気を付けください。

ダンゴムシになって

9月2日、本年度2回目の避難訓練（地震を想定した）を行いました。「ただいま、地震が起きました。園児の皆さんは、揺れがなくなるまで、・・・」という園内放送がかかると園児たちはいっせいに机の下に身を隠してじっとしていました。その後「揺れがおさまりました。みなさんは・・・」で一斉に行動開始。およそ3分で、全ての園児は、園庭に避難できました。園長先生から「お（おさない）は（はしらない）し（しゃべらない）も（もどらない）」の約束と、副園長からは「揺れがおさまるまでは、ダンゴムシのようになって」というお話を聞きました。



備えあれば憂いなし

9月1日は「防災の日」、9月9日は、「救急の日」です。もしもに備えて、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、子どもへも「火事や地震が起こったらどのように行動すべきか」「煙を吸わずに逃げる方法」「地震の時は、机の下に隠れる」など、普段から繰り返し話し、もしもに備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、今一度確認しましょう。

○子どもの手の届く場所に置いてはいけない物。

（薬・洗剤・たばこ・ライター・包丁など）

○踏み台になるものをベランダに置かない。

○コンセントなどをいたずらできないようにする。

○遊び食べに注意する（食べ物がのどに詰まることがあります）

○浴室には、子ども一人で勝手に入れないように工夫する。

☆昨年の胆振東部大地震から、一年。災害は忘れたころにやってくるといえます。過去の教訓をしっかりと、活かしましょう。